

アマダイ通信NO. 146

(Tile fish network letter)

2023年5月 連休終わる

知人・友人各位

大国幻想を捨てられない、身の程知らずのプーチンが、諜報員の流儀で隣国へ侵略戦争、敗色濃厚。マルクス主義を捨て、中華帝国の復活を目指す習近平は「改革開放」を逆回転、国民の福祉を置き去りに内には警察国家化、外には軍事大国化を急速に進める。外国からの資本と技術の流入は細り、人口減少の上に人材も流出すれば、経済成長も減速、国民の不満の爆発を抑え続けられるか？インフレ退治と金融危機の二律背反、恐慌のリスクに怯える欧米も、拡大する格差と貧困を解決できるか？更に太陽による地球吸収と人類消滅の危機。この危機を救うのは新しい資本主義か？新しい社会主義か？それとも？

◎介護の社会化、一人で抱え込まず、外の手も借りる！

独身で働きながら両親を介護する旅友の女性からメール。介護と仕事の両立に苦労。

🐟様、大変ご無沙汰しております。現在、両親の介護で、特に父が看多機（看護小規模多機能型居宅介護）にお世話になってましたが、対応が難しいとのことで強制送還され、現在、自宅で面倒を見ている関係から、ヘルパーさんや訪問看護師さんの手を借りながら、どうにか在宅勤務でしのいでますが、長時間外出（15分の買い物がせいぜい）ができないので、区役所への特養の申込やグループホーム入居検討もできない状況で、「自由」なんて単語は皆無な毎日を過ごしています。最近、少し動けるようになったので、トイレ介助や夜中に起き出すことの対応が増えて、まったく気の休まる時がありません。🐟さんのメールを拝見すると、別の世界の話だなあと、日々どちらが先に倒れるかと病気にもなれない、今日、この頃です。(M)

我が家も妻が要介護になり一時大変に。近くに住む二人の子育て中の娘が、取り敢えず契約しておいた方がいいと、自分のところで週2、3日家事手伝いを派遣して貰っているタカミサプライ（0334638777）という会社を紹介してくれ契約。幸い家事手伝いを派遣して貰うことも娘の手を借りることもなく、食事宅配・見回り、ヘルパーさんやデイサービス、巡回の診療、看護、リハビリ、ショートステイなどの介護保険サービスのフル利用で、営業顧問業を続けながら要介護3の妻の老々介護を2年以上。何度かの入退院も経て、有料老人ホームに入り現在に至る。取り敢えず15分の時間もつukれないということであれば、時間単位で利用出来る家事手伝いに来て頂き、諸々の手続きやに必要な時間をつくったら如何か？上を見ればきりが無い。下を見ても底なしだ。人生色々、比べてため息ばかりでも仕方ない。誰かさんが若い時情熱を燃やした革命が起こって、世の中ががらり変わる！というのも当面なさそう。取り敢えず、タカミサプライに電話し、自分の時間をつくったら如何ですか？こんなアドバイスしか出来ない。

◎骨粗鬆症の惨、慌ただしく入退院。スキー中止、ゴルフ楽しみ介護保険に多謝！

3月25日菜種梅雨の土曜日、名門千葉カントリー川間コースで雨中の顧問先のゴルフコンペ。最高齢ゴルファーは58、60とビリケツでも、飯より芝刈が大好きな鉄鋼商社阪和興業の30余人と楽しく交流、2万歩近く歩く。終って車で月島図書館直行、商社特集

の東洋経済でトレンドを読む。翌日花冷えの日曜のスキーは雨天中止。独居老人は日曜5%引きのマルエツ（イオン）カードで10個299円（その後478円のパックも登場、378円のパックが売れ残っていると、安い！と手が伸びる）の卵を始め食品中心に1万円以上まとめ買い。雨を突き月島図書館まで歩き、東洋経済の続き。スキーは出来なくても一万歩超歩き、体動かし情報をインプット。

脊椎骨折の痛みがとれず、東京品川病院に再入院、骨粗相症でスカスカ、圧迫骨折の第一腰椎と隣り合う第12胸椎に珪酸カルシウムを注入して補強する3時間半の手術をした、有料老人ホーム住まいの連れ合い。退院前日の念のためのPCR検査でコロナ感染が判明。幸い発症は免れるが、二週間泊めおかれ3月6日（月）にようやく退院、有料老人ホームのサニーライフ芝浦に戻る。ところが木曜日辺りに38度の高熱、金曜日になり血中酸素濃度が低下、夕方救急車を呼ぶが搬送先の病院が決まったのが10時頃。タクシーを拾い大森赤十字病院に駆けつけ、入院手続きは月曜日にとということで、応急処置の終わった連れ合いを病院に残し夜中2時過ぎにタクシーを呼んで貰い帰る。

土曜日同学の後輩、通産省OBの加藤さん、乗換え案内のジョルダンの佐藤社長と計画していた湯沢高原の10回目（シーズン14回目）のスキーは中止。日曜日の小川カントリーはどうか5人で楽しむ。天候に恵まれ、早咲きの桜や雪柳が可憐に咲き、コブシも白い壁となって連なり見事。佐藤社長と2人で回り、ショートホールでバーディを取る幸運もあり、54と54でどうか100台キープ。先の組で回った寮同期の山川胃腸科内科院長に、救急搬送先が中々決まらなかった顛末を嘆くと、最近はそんなもんだよとのこと。病院は患者で溢れ返っているのか？そのせいかな？13日（月）朝大森赤十字病院で入院手続きをして事務所に着くと折り返し、病院の医師から電話、翌日の急な退院が決まる。以下は病院、施設とのやりとり。骨粗相症の怖さを知る。

●です、いつも大変お世話になります。今朝大森赤十字病院で入院手続きしてきました。先ほど医師から電話があり、入院時の検査の結果、第6腰椎と骨盤が骨折しているとのこと。経過を説明したところ、東京品川病院とも連絡取ってみるとのことでしたが、サニーライフさんの方でもこの件で、何か気づかれませんでしたか？とのことでした。整形外科の先生と相談の上、追って連絡があると思います。宜しくお願い致します。

サニーライフに帰館してからは痛みが軽減したと本人は言っており、自分で車いすに乗車し、車椅子での移動も本人が行う事が多くありました。看護師等にも確認しましたが、転倒や痛みの訴えは無かったとのこと。ただ、精神的に不安定になっており居室内で動かれることもあったようです。状況がわかりましたらご一報ください。

●です、お世話になります。大森赤十字病院から、連絡があったと思いますが、整形外科の先生の話しでは第六腰椎と骨盤の骨折ですが、恥骨、坐骨、仙骨が骨折しているとのこと。何か転んでということではなく、骨粗相症で脆くなったのではないかとのことです。血中酸素濃度の不足も、泌尿器の炎症によるだけでなく、骨盤の骨折による出血に伴う貧血、或いは両方によるものではないかとのことです。金属を入れボルトとナットで繋ぐ手術が必要になるが、紹介状を書くので、やるとしてもこれまで治療して頂いた東京品川病院でやって貰った方がいいのではないかとのことです。骨粗相症の状態です手術は可能なのでしょうか？取り敢えず特注の硬性コルセットを施設から運んで貰った方がいいとのこと。先生から追って連絡があり、膀胱炎については抗生物質を出すので、

明日にでも退院出来るとのことで、施設と相談、明日（14日）11時に退院することになったと折り返し連絡がありました。明日は用事が入っているので、娘が10時くらいに大森赤十字病院に行って退院手続き出来ないか？調整していますが、午後3時以降では難しいでしょうか？宜しくお願い致します。

（娘も都合つかず、退院手続きと施設への移動は別になり、火曜日9時に退院手続き）

●様、お世話になっております。先ほど、早苗様がサニーライフに戻ってこられました。以前の退院よりも新規の骨折がある為か車椅子に乗車していても痛みが出るがあります。往診医とも相談して、またご連絡させていただきます。

●です、お世話になります、ありがとうございます。第六腰椎と骨盤三カ所骨折しているとのことで、やはり痛みがありますか？大森赤十字の整形外科のお医者さんは品川病院の整形外科での骨盤の本格的な手術を勧めていますが、治るか気掛かりです。一度診て貰う必要はあるでしょうが。取り敢えず、宜しくお願い致します。

●様、お世話になっております。早苗様ですが、サニーライフに帰館後、2時間の間に2回ベッドより滑落されております。痛みの変化はなく、バイタル（脈拍、呼吸、血圧、体温など患者の基本的な情報）も安定しております。往診医に連絡、現在様子を見ている状態です。会話も問題なくできております。滑落時に怪我がないように、床にマットレスを敷いて対応させて頂いております。何かありましたらすぐに連絡させていただきます。

●です、ありがとうございます。ベッドから落ちるのは自分で移動しようと動くからでしょうか？

●様、お世話になっております。本日（15日）、大森赤十字病院からの紹介で東京品川病院へ受診致しました。画像診断の結果、手術はデメリットしかないとの事。骨盤にも骨折はあるが、車椅子に座れているのであればこのまま様子観察してほしい、との指示です、しばらく様子を見ていきます。また、施設に14:00頃帰館され、昼食の為に5Fの仮居室内で車椅子のままお待ち頂いて職員が食事を取りに少し離れた際に、ご自身で椅子から立ち上がりバランスを崩され転倒されました。幸い、バイタルも普段の数値とほぼ変わらず、外傷や痛みの訴えもございません。往診医にも連絡を入れ様子観察の指示でしたので、今回の転倒も様子観察をしていきます。昼食は召し上がりせず、水分とフルーツを少々だけ召し上がりました。ベッドで横になっている間は、周りにマットレスを敷いて大げかに至らないようにしております。ご心配をお掛けして申し訳ございません。今夜以降で状態の急変がございましたら、お電話させていただきますので宜しくお願い致します。

●です、お世話になります。了解です。骨粗相症の現状と体力からすると手術は効果的ではないということなのでしょう。そんなに痛みがなければコルセットをして、自然回復を待つのが妥当ということかと思えます。自分で動く意思と体力の釣り合いが取れていないようです。大きな骨折をしないといいのですが。お手数おかけしますが、宜しくお願い致します。

以降は幸い安定した状態が続く。月日は百代の过客にして行き交う年もまた旅人なりとは芭蕉の言の葉だが、行き交う速さは往時の比ではない。慌ただし割には物質生活は豊かになり、寿命も伸びた。介護の社会化も進み、老々介護の負担も軽減され、要介護の片割れを抱えながら、手に余れば介護保険の助けを借り、後期高齢者になっても働いて収入を得、人の役に立ち、余暇を楽しむことも出来る。親の代を考えると隔世の感がある。

だがこの制度が全ての要介護者とその介護者を救っている訳ではない。介護保険制度の更なる充実が必要だ。ましてその後退は許されない

◎斎藤幸平「ゼロからの資本論」を読む。もう一つの地球を！

斎藤幸平の「人新世の資本論」に続き、「ゼロからの資本論」も売れている。固い内容の割に 15 万部も売れたという。69 年 11 月の佐藤首相訪米阻止闘争で逮捕・起訴され、未決で 71 年正月まで足掛け 3 年、70 年を丸ごと中野刑務所の独房で過ごし、天から読書の機会を与えられた！と乱読に明け暮れ、マルクスの資本論全 3 巻も呻吟しながらも読み通した。ゼロからの資本論で斎藤幸平は資本主義経済の仕組みとその問題点を、現代資本主義の分析も加え分かり易く説く。マルキストとして生涯を終えたいという者だけでなく、ビジネスを上手く進めたいという方にも、簡便な新書版一冊で、資本主義経済の仕組みを分かり易く教えてくれるので役立つ。

資本の論理と資本主義経済の問題点を学ぶには好適の書だが、生産性と生産力の向上を地球環境の破壊に繋がるということで否定するのは問題だ。労働者が生産手段から分離され疎外された状態から、革命によって解放され生産手段を自らに取り返し、社会の主人公になると労働意欲が向上、想像力と創造力を発揮、労働生産性と生産力も発展することを見逃している。又、二酸化炭素の排出による地球温暖化という「外部不経済」も内部に取り込みビジネスにしてしまう、資本主義経済のタフさ、変幻自在というか、何でも商品化してしまう、資本の本質を見失っている。地理的なフロンティアだけでなく、自らが産み出した外部不経済さえ、資本はフロンティア化してしまう。

テスラのイーロン・マスクは資本家その者だが、地球温暖化という外部不経済を電気自動車というビジネスに転換、内部経済化し大儲け。彼は更にその儲けを宇宙ビジネスに投じ、事業と儲けを更に拡大せんとする。まさに資本の自己増殖そのもの。彼は人類の火星移住も視野に入れる。更にその先、43 億年先には膨張する太陽に吸収され地球は消滅、その遙か前に人類は地球に住めなくなる。人類は果てしない宇宙空間のどこかに、第二、第三の地球を見つけ、移住出来なければ滅びる。人類の存続のためには、これまでの人類の歴史がそうだったように、異次元の科学の発展と想像を超える生産性と生産力の発展が必要。まずは光速を遥かに超える移動手段を発明する必要。人類の歴史は不可能を可能にする歴史だったが、それは可能か？そのためにも労働生産性と生産力の発展は不可欠。

◎福祉置き去り、警察国家化、軍事強国化の中国共産党に未来はあるか？

NHK のドキュメンタリー番組で、中国では健康保険の自己負担割合が 6 割、7 割と高く、がんなどの高額医療費を負担出来ず、治療を諦める人が多いと報道。日本では大腸がん 3b（治癒する見込なし）の👤でも救われる健康保険があり、老齢年金、介護保険制度が不十分ながらも機能、保育園も全入に近いが、中国では福祉がこれからののに少子高齢化が始まり、経済成長率が低下していく。おまけに軍事強国化が進み軍事費が増大、ウイグルやチベット、内モンゴルなど国内治安の維持、警察国家化の負担も重い。米中デカップリングや反スパイ法などによる恣意的な逮捕・拘束は技術と資本、人材の逃避、ビジネスの委縮につながる。中国共産党に未来はあるのか？折から、中国の友人からメール。

👤さん、しばらくお返事できず大変失礼しました。2 月から新年が始まり、妻が出勤

せねばならなくなったため、朝から晩まで私が1人で子育てしております。先々週から大学の授業が始まったため、火曜日と金曜日は昼間数時間とは言え、子供を面倒を見ることができなくなってしまいました。一応週2日間妻が有給休暇をとって、子供の面倒みてくれています。有給休暇もそうそうあるわけではないので、何とか週2日間アルバイトなり、ベビーシッターを雇わなければなりません。中国では、住み込みのお手伝いさんを雇う場合もありますが、見知らぬ他人を家に引き入れ、一緒に住むのはストレスも溜まりますし、何より子供をどうされるかわからない国なので不安です。家の中の貴重品がなくなる可能性も大いにある国なので、信頼関係がない国では、余計危険性が高いです。何とかならないものかなと今手探りで考えているところです。本来は2月から私の母が北京に来て面倒みてくれる予定でしたが、東京にある中国大使館がビザの発給をしてくれなかったために、来ることが叶わなくなってしまったところから、問題が生じております。何とか解決方法が見つかるように祈って、人を探しているところです。

「社会主義国家」中国で、「保育の社会化」の恩恵に預かれず、大変ですね（保育園は3歳から）。拳を振り上げた方がいいが経済上まずいということで、取り敢えずは日本に対する中国のVISA発給要件が緩和されたので、再申請が通るといいですね。保育の次は「介護の社会化」が中国でも問題になりますね。日本でも団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、介護保険制度が破綻するのではないかと、「25年問題」が危惧されます。日本でも子供を保育園に入れるのが難しい状況が続き大変でしたが、保護者の声や世論、待機児童ゼロのマスコミのキャンペーンもあり、希望すれば保育園にはほぼ入れる状況、「保育の社会化」が曲がりなりにも実現してます。信頼出来るベビーシッターやお手伝いさんの派遣会社、定期的に掃除をしてくれる会社などもあり、お金がないと出来ない相談ですが、市場原理の下「家事の社会化」も進みます。どちらが「社会主義」国家なのでしょう？

生産手段の「国有化」と「労農独裁」、「計画経済」というスターリン型の「社会主義」では駄目と「改革開放」で「社会主義市場経済化」を進め、外国の技術と資本を受け入れ、経済を発展させた中国共産党だが、習近平の下で独裁体制の強化、軍国化、国進民退と逆戻り。社会と政治の「自由と民主」化を進め、国民の叡智を集め、創意工夫を進める、イノベーションを進めない限り、経済の発展、国民福祉の増進も期待出来ない。マルクスが「共産党宣言」で展望したように、「資本主義経済とブルジョア民主主義」の発展の上に、それを越えるものとして、「社会主義」はある。一層の富の集中と格差の拡大、軍国化・警察国家化が進むが、表現の自由、報道の自由がなければ社会福祉は置き去りにされ、国民の不満は澱の様に溜まり、いつか爆発する。コロナ禍による都市封鎖に対する白紙運動のように。内外共にハリネズミの様に針を膨らませ、狼の様に牙を剥くのは、中国共産党の強さではなく弱さ。戦前の日本の様な道を歩むのか？冷戦体制下、軍拡競争を強いられ自壊したソ連の道を歩むのか？そのミックスか？習近平の中国共産党に未来はあるのか？

◎好き者は連休直前、神楽で春スキーを楽しむ

25日（火）スケジュールが空く。妻の夜中の救急搬送や雨続きで3週末ご無沙汰のスキーを久し振り楽しむ。17号線沿いの三俣スキー場は営業終了だが、その奥の神楽スキー場は営業中。三俣スキー場の麓からゴンドラに乗り降りた所でスキーを履き滑降、三俣のリフトに乗り継ぐ。雪の消えた地面で麓の藪狩りをするスキーヤーも。斜面までスキー

で歩き、神楽のゴンドラまで滑り降りる。長いゴンドラの旅を終えると最大斜度 32 度、標高差 1225m、最長滑走距離 6 キロ、コース数 32 の広大なスキー場。シーズン末期、利用出来るリフトは 2 本だけ、コブ専用の「危険」コースは避け、4 本のコースを 2、3 本ずつ。3 時半でリフトは止まり、最後ゴンドラの下長い緩やかな滑走をじっくり楽しむ。搬機とスキーを逆に乗り継ぎ 4 時半前にマンションに。クレー爺は温泉で疲れを癒し、5 時 41 分湯沢駅発新幹線で 7 時東京駅着。

2 月から 3 月頭の週末の混雑が嘘のように空いている新幹線で、朝 7 時 48 分東京駅発、9 時 5 分湯沢着。10 時からのマンションの風呂掃除に間に合い、先ず温泉を楽しむ。11 時過ぎにマンションを出、あらかたのスキー場が閉鎖した平日の保よしの初めての客に。変わらず美味しい天ざるを楽しむ。今年は雪解けが早く、いつもは連休一杯営業の GALA 湯沢も 23 日（日）で終了。営業中は神楽と奥只見丸山だけ。好き者は 15 分毎のゴンドラに 12 時 15 分に乗り、重たい湿雪に苦勞しながらも久し振りの滑走を楽しむ。

車で 15 分弱と駅前のマンションからは意外と近い。これまでは雪深い GALA と神楽、奥只見丸山は春スキーと決め込んでいたが、遅くまで滑れるということは早くから滑れるということ。最大斜度 28 度、標高差 800m、最長滑走距離 5 キロの湯沢高原に比べ斜面は急で広く長く、スリリング。雪不足の昨今、孫達と滑る岩原や今シーズンからホームゲレンデの湯沢高原は、標高が低く年末年始いつから滑れる？と気をもむ。来シーズンは 11 月から四駆のルーミーをマンションに置きっ放しで、神楽の素晴らしい処女雪を、新幹線手ぶらスキーで楽しみ足腰を鍛えたい。全 32 コース制覇の仲間を更に求めたい。

スキーが終われば隔週日曜日、小川カントリーで組のゴルフ。ハイシーズン、土日休日昼食込みのセルフプレーで 1 万 5 千円ほどとリーズナブル。起伏に富みトリッキーで面白い。高速から 10 分、池袋から電車で 70 分。はカートに乗らず歩き通す。足腰の強化に最適。子育てを終えた我が娘や 15 年入寮野村証券の北條君、30 代の女性起業家、アラ 50 の不動産屋の社長さんと、新規参入、再参入も。緑のウォーカーも募ります。

◎不動産屋になり本郷再開発？谷町になる！？

コロナ禍で出社機会が減り、デベロッパーや設計事務所、ゼネコンにアポが入りづらい。自らの立ち位置をあらためて確認。元情報に近い筋の押しがあってもお願いするだけでは優先度が低い。建築情報は土地情報、そのかけらでも営業先に提供出来れば、お願いするだけでなく多少はお役に立てる。土地情報はあってもその活用先にコンタクト出来ない不動産業者もいる。幸い組の営業先は土地情報を必要とする。組さんほどの人脈があれば不動産屋になれますよ！と言われる。何ほどのことが出来るのかと思うが、40 年以上前にとった宅建士の資格を活かし頑張ろう！今度こそ、「おら不動産屋になるだ」！

本郷農学部前、本郷通り（17 号線）沿いに千坪の更地の売り物があるという。仲間の不動産屋の案内で現調ついでに、三丁目まで歩く。学内アルバイト団体の東大学力増進会（学増）時代に仕事の打合せに使っていた正門と言間通りの中間の喫茶ところは閉店。正門前、入学して初めてハヤシライスを食べその美味しさに感動したパーラー万定も閉店。学増の事務所があった建物も、教材を印刷して貰っていた東京プリントの建物の所在もわからない。東大全共闘、とりわけ毛沢東派の ML 派を最前線にしてくれた正門真ん前のマンションモンテベルデー階、華僑のオジサンの中華料理屋も無い。

言問通りから正門前にかけて廃屋の連続で、寂しい限り。逆に再開発のいい機会になる！と思う。本郷通りの恰幅計画は戦前からあり、大学と反対側の建物は建替えを迫られてもいる。看板などはないが、もう再開発の試みが始まっているのかも知れない。歴史ある町が、文化の香る先端的な研究や起業の街に変貌、本郷のキャンパスは狭くなり柏にも研究拠点があるが、本郷で拡張出来れば素敵だ。

赤門近く、三丁目の交差点の方から引っ越して来た喫茶ルオーはまだ頑張っている。ルオー跡の画材と画廊のタンギーは健在だが、壱岐坂近くの老夫婦の小料理屋祇園は閉店、貸し店のチラシ。赤門前の、LⅢ闘争委員会の三男坊が朝日新聞に入った岡本薬局も無し。薬局の脇の小路を入ったチャンコの浅瀬川はまだやっているが、元相撲取りの体の大きい弟は入谷で独立したという。兄夫婦二人では人手不足で2階は使えず、1階だけの営業ということで、14、5人しか入らず、「味は文化です！」を開催するのは難しそう。不動産屋で頑張り、味は文化だ！と学生に大盤振る舞い、交流と切磋琢磨の場を沢山提供したい。

◎第19回歌舞伎観劇会 (2023.01.22)

参加者は藤田小哲 (2022・文Ⅲ・静岡)、星乃直理 (2022・理Ⅱ・楠隼)、NGUYEN THU GIANG (2022・文Ⅲ・東京外国語大学で予備教育)、長谷川凜 (2021・文Ⅲ・ICU)、村松泰知、北浜駿太 (2017・理Ⅰ 理学部物理学科学系研究科物理学専攻 M2・倉敷天城)、唐津裕貴 (2008・理Ⅰ 理学部数学科数理科学研究科→藝大作曲科→藝大大学院音楽文化学専攻ソルフェージュ研究分野 M1・淳心学院)、西沢文孝 (1995・文学部)、●、辰紘 (1965・文Ⅰ 教養学部教養学科国際関係論・三国丘)、弘中義夫 (1959・理Ⅱ・小倉)。

◎味は文化です！干場「邸」編 (2023.02.19) ・ ・ 夜景を愛でながらキリタンポパーティ

土曜日7回目の湯沢高原新幹線手ブラスキー (シーズン11回目) に続き、日曜日晴海の我が家で湾岸の夜景を愛でながら、秋田名物キリタンポ鍋を味わう。学年末試験が終われば帰心矢の如しで一年生は不参加。二年生が4人、追い出しコンパも兼ね、晴海のタワマンの、ようやく人を呼べるくらいに片付いた方丈の庵で、湾岸の夜景を眺めながら、ピザを前菜に故郷秋田名物キリタンポ鍋、鱈の鮓を味わい交流。16年入寮、文Ⅲから建築学科に進学、ソニーエンターテイメントに就職と変わった経歴の高田君は同棲中の異性パートナーと参加。高田君と尾張一宮高同級、16年入寮も未だ文学部学生の横字君もカップルで参加。工学部修士2年でコンサルに就職予定の能代高校、しかも八峰町出身の工藤龍君も三鷹寮ではないが特別参加。


新米が出回る秋から冬にかけ、ハレの日の秋田のご馳走はキリタンポ鍋。客があつたりすると庭でのんびり餌をついばむ、よく肥えた鶏に狙いを定めるが、中々。運悪く捕まった雌鶏は首を切られ、逆さで血抜き、熱湯をかけて羽をむしられ、火のついた藁の上でクルクル産毛を焼かれ、首に荒縄をかけ吊され、手足を切り取られと腑分けが進む。粟粒大から生まれる直前までの卵が詰まった卵管は大好物。長い首の軟骨も叩いて丸めて肉団子に。頭はイタチの毘の餌になるが、捕まったイタチは見たことがない。少年Hは鶏も人間も腑分けの要領は同じと感心するが、秋田少年猟奇殺人事件は記録にない。山羊や綿羊も老いぼれると雪の肥溜めの上で捌かれるが、大人の仕事。膀胱を破らないように慎重な包丁さばきが求められる。肉屋のない村で、成果物は近所にもおすそ分け、雪中の天然の

冷蔵庫に保存、カレーライスや肉じゃが、ジンギスカンとして、しばらく人間の胃袋を潤す。頭やひずめ、骨など利用出来ない部分は肥溜めで微生物に分解され、畑を肥やし、違った形で人の役に立つ。かつて旅したモンゴルの民のそれに同じ。日本がまだ貧しかった頃、東北の寒村で商品経済の支配は部分的、半物々交換経済。

冬のもう一つの秋田名物鱒（ハタハタ）の鮓や宅配のピザなども楽しみ、グラス片手に湾岸の夜景を愛でて交流、ネットワークを広げる。66年入寮同期、足立と房総は大原の二カ所居住で、畑仕事を楽しむ飯田君は摘みと房総の地酒持参。住友不動産での海外駐在を振り出しに、外資系証券などを渡り歩きキャリアを積む。最後住友不動産の顧問で戻った経歴は、今どきの若者にも新鮮な様。62年入寮、今EVで話題の日産の技術畑で長く働き、海外駐在も経験、コンサルティングなどもする安藤先輩の経験談も面白かった様。

午後スーパーマルエツでパックのキリタンポ、セリ、椎茸、舞茸、ネギ、木綿豆腐、油揚げ、白滝、鶏肉を買う。有楽町の交通会館の秋田物産館でキリタンポを買い増し、鶏ガラで作った濃縮スープ、八森は鈴木水産の鮓鮓、嬉しいことに八森の山本合名の純米酒どから一升瓶もゲット。収穫後の田んぼで栽培した根の長い立派なセリもあるが、根が短く貧相な川ゼリをマルエツで買った後なので残念。秋田のセリは根も美味しい。出汁にもなる、キリタンポの旨味に欠かせないケサガキのゴボーはなく、マルエツで人参も混じった千切りのパックをあらためて買う。長い人生で人参入りのキリタンポ鍋は初体験。

鍋3つに千切ったり、ぶった切ったりした具を放り込み、ぐつぐつ煮立ててキリタンポ鍋完成。寮で囲んだ闇鍋風だが、皆さん美味しいと言って食べてくれる。6時頃から始めて9時半くらいに爺さん2人が帰る。10時くらいに学生が帰るが、最後までがついてキリタンポを食べていた一人に、残りのキリタンポをパックに入れて持たせる。最後まで残って会話を楽しんでいた2組のカップルも、気兼ねなく、時間を気にせず寛げていいですと、10時半頃に帰る。二度、三度とやらない訳に行くまい。

参加者は大嶽努和（2021・理Ⅱ 理学部数学科・熊本）、大塚裕貴（2021・理Ⅰ 工学部機械工学科内定・大分上野丘）、川中厚之介（2021・理Ⅰ 理学部物理学科内定・岡山操山）、村松泰知、工藤龍（2017・理Ⅱ 工学部計数工学科・能代）、柴田卓巳（2016・文Ⅲ 教養学部学際科学科地理・空間コース 大学院総合文化研究科（人文地理学分野）・東葛飾）、高田夏輝（2015・文Ⅲ 工学部建築学科・岡崎）、横字史年、飯田徳松（1966・文Ⅲ 農学部農業経済・上野）、、安藤誠四郎（1962・理Ⅰ 工学部機械・修猷館）。

◎146才のアマダイ通信を宜しく！（結びに替えて）

兄が小泉郵政改革に嫌気さし、実家の明治から4代続く郵便局長を止めるまで、隔月に一回、「郵便局の革ちゃん」は田舎から切手を取り寄せ、アマダイ通信を郵送。営業の度に会社案内代わりにと手渡し、3千通になった辺りでメールに切り替え、メール読者が4千人ほど、郵便読者がようやく千人を切ったくらい。送った方全員に読んで頂いてる訳ではないと思うが、「ティエフネットワークの干場です」とアポ電を入れて相手方からはすぐ返答がない時も、一拍おいて「時々アマダイ通信を送らせて頂いています」と続けると、「あー、アマダイさんか！」とつながり、アポを入れられる。自己満足だけでなく、営業にも少しは役立っている。郵便とメール両方で受け取っている方がいれば、ご連絡願います。目指せ200号！？今後とも、宜しく願いいたします。再見！